

〈様式2〉

令和5年度 体力向上における各校の成果(小学校)

永平寺町

教育委員会

No	学校名		成 果
1	松岡	小学校	ワークシートによる指導と評価の一体化により、児童はめあてをもって授業に臨み、教師も評価の視点を意識しながら授業ができた。また、タブレットを積極的に活用し、技能向上の一助となるよう指導した。体力テストの長座体前屈では、全学年において全国平均を超えており、ねこちゃん体操を積極的に取り入れている成果が出ていると考える。
2	吉野	小学校	スキー教室では、一人一人に合った指導で、多くの児童に技能の向上が見られた。校内体育大会の一輪車演技では、すべての児童が技を成功させようと意欲的に練習に取り組み、見事演技を成功させることができた。また、マラソン大会練習では、ICTを活用し、走る楽しさに触れながら体力の向上を図ることができた。
3	御陵	小学校	1月中旬から2月中旬にかけて、異学年交流による週に2回の大縄跳び(8の字跳び)を行った。どの班も、最初に比べ2倍以上に回数を増やすことができた。また、体育の授業では、リレーのバトンパス、走り幅跳びの空中姿勢など、撮影したものをスローで再生し、動きを確認する際にICT機器を活用し、児童同士での話し合いに役立てることができた。
4	志比	小学校	1年間を通して業間体育とねこちゃん体操に取り組んだ。そのため、瞬発力と柔軟性がつき、50m走(0.06↑)、立ち幅跳び(0.09↑)、長座体前屈(3.37↑)において全国平均値を上回った学年が多かった。また、授業で投運動の指導に力を入れたことで全国平均より0.42上回った。
5	志比南	小学校	運動に主体的に取り組む児童が増えている。今年度は全学年で体育ファイルを使用するようにした。特に中～高学年では、授業の中で気づいたことや分かったこと、質問などを随時記録し振り返られるようにしたこと、教師側が児童の思考を見取りやすくなり、次につなげるためのアドバイスがよりできるようになった。また、児童自身も変化を感じることができるようになったため、より活動に主体的に取り組む様子が見られるようになった。学校評価では、健康や体力づくりに気をつけて生活していると答えた児童が90%おり、体力づくりに関心が高いことがわかる。
6	志比北	小学校	体力テストの結果を見ると、20mシャトルランでは、4・5年生男女、6年女では県平均を5～15ポイント以上上回り5分間走を継続している成果が出ている。5、6年と学年が上がるほど柔軟運動や投げる運動の成果が出て県平均を上回っている。低・中学年で体づくり運動を継続したことでできる動きが増え、投げる運動や手首で体を支える運動など楽しく取り組むことができた。
7	上志比	小学校	縦割り班での大縄の取り組みを通して、上級生が優しく教えていたり、苦手な児童を励ましたりする姿を見ることができ、共に運動することの楽しさを感じることができていた。体力テストの結果から、長座体前屈は男女ともに県平均を3cm程度上回っている。ねこちゃん体操を全校で取り組んだことで、柔軟性を高めることができた。